

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目	英語 コミュニケーション英語 I		単位数	2
対象学年・組	3学年選択全クラス	教科担任	MA:岸波 MB:岸波 AA:岸波 AB:岸波 CA:岸波	
教科書 ・ 副教材	VISTA English Communication I New Edition VISTA English Communication I WORKBOOK			
1. 目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した事項が含まれた英語を聞いたり、読んだりして、概要を理解することができる。 ・授業で学習した事項を用いて、自分のことを英語を簡潔に話したり、簡潔に書いたりすることができる。 ・授業で学習した事項を用いて、簡潔にプレゼンテーションを行うことができる。 				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4	Lesson 11 Ideas from Nature	分詞構文 バイオメティクスについて、その有用性、開発された経緯、機能について説明ができる。	6
	5	Lesson 11 Ideas from Nature	分詞構文(同時の動作) バイオメティクスについてプレゼンテーションができる。	6
	6	Lesson12 Steve Jobs	入学するころの目標について説明ができる。	8
	7	Lesson 12 Steve Jobs	仮定法過去・wishを用いた仮定法 もし工業高校でなかったらどのような学校生活を送っているか、もし人間でないなら何になりたいか、想像して説明できる。	4
	1学期授業時数計			
2 学 期	9	総復習	授業で指定した事項について、質問を交えながらコミュニケーションがとれる。	8
	10	総復習	授業で指定した事項について、比較を交えながら説明ができる。	8
	11	総復習	授業で指定した事項について、分詞を用いて説明ができる。	6
	12	総復習	授業で指定した事項について、知覚動詞を用いて正確に人に伝えることができる。	6
	2学期授業時数計			
3 学 期	1	総復習	授業で指定した事項について、使役動詞を用いて相手に伝えることができる。	3
	2			0
	3			0
	3学期授業時数計			
年間授業時数合計				55

3. 評価の観点・方法

- (1) スピーキングテストを授業毎に、プレゼンテーションを単元毎に行い、理解度と取り組みを評価する。
- (2) 授業態度、ワークシート等の提出物で授業への取り組みを評価する。
- (3) 上記(1)(2)を総合して評価し、総合点の6割を修得の条件とする。